

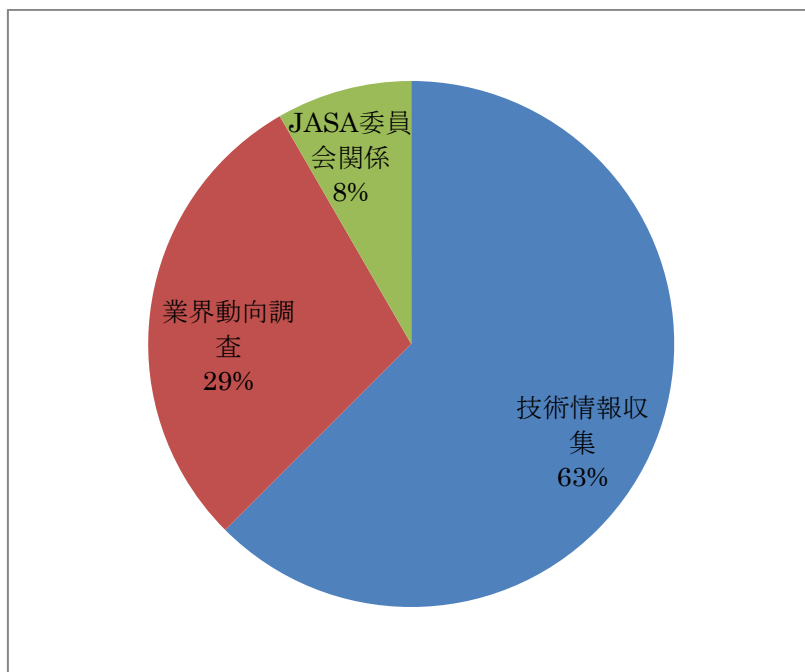
ET2013 JASA プレゼン・シアター (2013.11.20~22)

状態遷移設計研究会発表「状態遷移表のリバースモデリングへの適用」

アンケート集計結果

(有効回答者数：23名)

Q1. 受講の目的は何ですか？

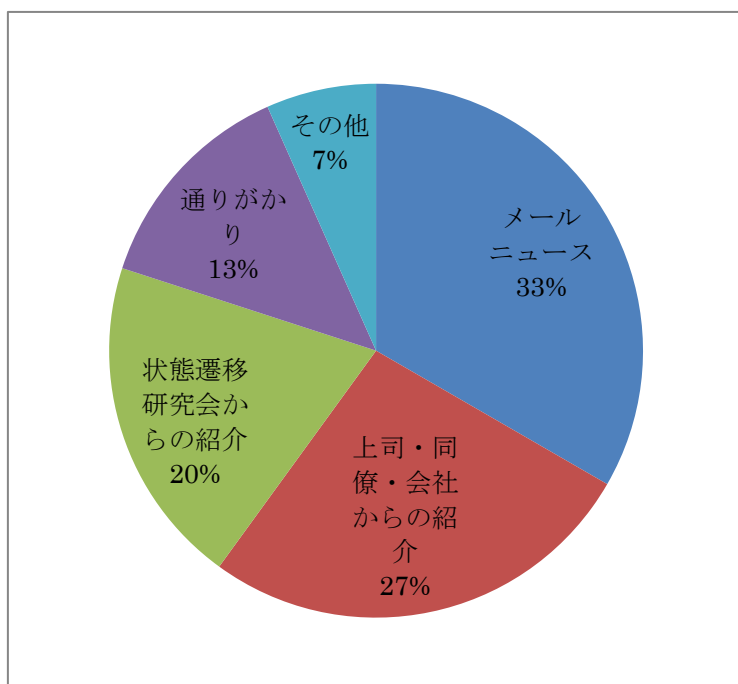


Q2. ご講演の感想をお聞かせください。

- ・とても分かりやすい講演でした。内容も興味深かったです。
- ・面白かったです。
- ・ちょっと駆け足気味と感じた。
- ・状態遷移表を作成することによる効果としては、設計書の無い膨大なプログラミングに対するレビュー・品質向上に寄与するものと考えて、取り組みを開始されたのでしょうか？
- ・サンプルの解説が面白かった。
- ・コードから、状態遷移を作るという考え方は、とても興味深く感じました。
- ・レガシーコードの品質向上に興味を持てた。
- ・このような分野があるとは知らなかった。
- ・レガシーシステムに着目したのが、興味を持てた。
- ・良かった。
- ・大変興味を持ちました。

- ・大変参考になりました。
- ・組込みの世界では、まだまだレガシーコードの課題があることが分かった。
- ・ソースコードよりプログラムの状態遷移が生成されることにより、テストパターン(単体テスト)の自動作成への展望が見えた。
- ・状態遷移表のリバースに期待しています。

Q3. 当イベントは、どの様にしてお知りになりましたか。



Q4. 今回のセミナーについて、ご意見ご要望等あれば、自由に感想を記述してください。

- ・着目したものは、レガシーなものだが、テーマを掘り下げている所は興味深い。
- ・液晶ディスプレイと発表者の位置に、少し違和感がありました。